

報告日 令和7年10月20日  
報告回次 1回目

## 令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

|           |                           |        |      |           |              |
|-----------|---------------------------|--------|------|-----------|--------------|
| 団体名       | 京都府私立中学高等学校連合会教務研究会       |        |      | 代表者名      | 上 侍司         |
| 担当者部署(属性) | その他                       | 担当者部署名 | 教務部  | 連絡先電話番号   | 075-463-5221 |
| 担当者役職     | 研究員長                      | 担当者氏名  | 上 侍司 | 連絡先E-mail |              |
| 住所        | 616-8034 京都府京都市右京区花園木辻北町1 |        |      |           |              |

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

|       |          |         |              |           |  |
|-------|----------|---------|--------------|-----------|--|
| 団体名   | 京都府      | 連絡先部署   | 文化生活部文教課     |           |  |
| 担当者氏名 | 藤井 祐貴子 様 | 連絡先電話番号 | 075-414-4520 | 連絡先E-mail |  |

#### 1-3. 支援を求める内容

|          |   |     |    |  |  |  |  |  |
|----------|---|-----|----|--|--|--|--|--|
| 支援方法     | 職員向け啓発・研修（複数団体）   | 事業名 | 教育 |  |  |  |  |  |
| 概要       | 京都府私立中学高等学校連合会の教育研究大会、教務研究会の分科会において、教育現場でのICTの利活用や生成AIの利活用などについての講演会をお聞きし、各学校での活用を促進する。そのための各学校レベルで取り組むことのできる具体的な方策について、講師に御助言いただきたい。 |     |    |  |  |  |  |  |
| 支援を求める分野 | 人材（DXに関する知識習得・研修・育成）生成AI活用 教育情報化／情報教育   |     |    |  |  |  |  |  |

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| 2-1.<br>対応日・時間 | 期日・支援内容の変更あり  | 受付番号             | 変更後の派遣日 | 変更後に実施した支援内容 | 実地/オンライン |
|----------------|---------------|------------------|---------|--------------|----------|
|                | 無             |                  |         |              |          |
|                | 派遣日予定日（申請書より） | 支援内容（申請書より）      | 開始時刻    | 終了時刻         | 内休憩時間（分） |
|                | 令和7年10月19日    | 講演(実地)           | 13時15分  | 16時15分       |          |
|                |               |                  |         | 活動時間（分）      | 170      |
| 2-2.<br>派遣場所   | 会場名           | 平安女学院中学高等学校      |         | 最寄駅          | 地下鉄丸太町駅  |
|                | 所在地           | 京都府京都市上京区武衛陣町221 |         | 最寄駅からの交通手段   | 徒歩       |

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

|                              |   |
|------------------------------|---|
| アドバイザー                       | 藤村 裕一                                       |
| 評価                           | 大変良い  |
| 上記評価の理由（どのようなところがよかったです等詳細に） | 私立中学高等学校が抱える、生成AIを中心とした教育DXの活用についてご教授いただいた。 |
| アドバイザーへの要望事項                 | 特にありません。                                    |

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| 4-1. 支援を受けた対象者 | 属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】 |       | 合計人数  | 25人       |
|----------------|-------------------------|-------|-------|-----------|
|                | 属性                      | 自治体職員 |       |           |
|                | 人数                      | 住民    | 企業・団体 | その他(学生など) |

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

|                            |   |
|----------------------------|---|
| 事業の課題・問題点<br>(具体的にご記入下さい)  | 私立中学・高等学校、特に教務部の業務において、ICTや生成AIについての利活用がまだ十分であるとは言い難い状況である。<br>各学校において教員のICTのスキルを上げると同時に、教育DXの有効な活用法を追及していくなければならない。              |
| 支援により目指す成果<br>(具体的にご記入下さい) | 私立中学高等学校内で連携し、早い段階でのDXの推進を心掛けていきたい。デジタルの知識を習得している教員を増やし、教務部に所属している教員を中心にICTを使って生徒に対して、有効な教育を提供できるようになげ、生徒自身もICT技術を習得できるような環境を構築する |

|   |  |
|---|--|
| アドバイザーに支援を受けた内容<br>(具体的にご記入下さい)               | 中学高等学校において、生成AIを導入することで、生徒の力を伸ばす授業づくりや、業務の改善等の方法論についてご共住いただいた。   |
| 支援を受け改善又は解決された内容<br>(具体的にご記入下さい)              | 講演を拝聴してすぐには成果は出ませんが、各学校に持ち帰り、生成AIの活用に向けたルール策定などから始めたいと考えている。   |
| 具体的な成果物                                       | <p>最も当てはまるものをリストより選択下さい。 <input type="checkbox"/> ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない</p> <p>各学校において成果を今後上げていきたい。</p>  |
| 改善又は解決されなかった内容<br>持ち越しとなった内容<br>(具体的にご記入ください) | すぐに授業改善等ができるというわけではないが、今後、私立中高においても各学校と連携をとりながら、実践例等を互いに公開していくなどしていきたい。  |
| アンケートの内容と分析結果                                 | <p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。）</p> <p>アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>講演会のため、アンケートを実施する時間は取れなかったが、当日活発な質疑応答が行われた。</p> |
| 4-3. 今後の計画                                    | <p>最も当てはまるものをリストより選択下さい <input type="checkbox"/> ③現段階では課題・問題が残っているため未定</p> <p>各学校によって状況が異なるため。</p>   |
| 4-4. 事業の最終的な目指す姿                              | 生徒教員ともに生成AIを活用した授業を行えるようになる。   |

#### 5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

掲載許可  ○掲載可

なお「その他」を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

#### 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

